

# 「文化観光懇談会」の概要と開催状況

## 【開催趣旨】

- 現在、国土交通省では、観光立国実現のため国際競争力ある観光地づくりやビジット・ジャパン・キャンペーンを通じた日本の魅力の世界への戦略的発信に取り組んでいる。
- 観光による交流を単に一回限りの異文化との出会いにとどめることなく、より深い相互理解につなげていくためには、我々日本人の日本の歴史や文化への理解を深めるとともに、外国人の視点をも取り入れて文化観光資源を発掘・活用し、それらを多くの旅行者に、好みに応じて触れ・体験できるようにすることが重要と考えられる。
- こうした観点から、国土交通省では、「文化観光懇談会」を設置し、文化観光の振興について検討を行うこととした。

## 文化観光懇談会委員

- (座長) 赤坂憲雄 民俗学者・東北芸術工科大学教授  
岩井國臣 参議院議員・国土交通副大臣(第1回まで)  
梶原 拓 前全国知事会会長・前岐阜県知事  
神崎宣武 民俗学者・旅の文化研究所所長  
清水慎一 (株)ジェイティーピー 常務取締役事業創設本部長(第2回～)  
千歳 栄 民俗史家・千歳建設会長  
中沢新一 宗教学者・多摩美術大学芸術人類学研究所所長  
中西 進 比較文学者・京都市立芸術大学長  
政所利子 (株)玄 代表取締役(第2回～)  
岡本真佐子 桐蔭横浜大学文化政策研究所教授(第4回～)  
桜井 洋 早稲田大学国際教養学部教授(第4回～)  
ピーター・フランク 数学者・大道芸人(第4回～)  
王 敏 法政大学国際日本学研究所教授(第4回～)  
柴田耕介 国土交通省大臣官房総合観光政策審議官(第2回～第4回)
- (顧問) 河合隼雄 臨床心理学者・文化庁長官(第3回まで)  
青木 保 文化庁長官(第4回～)

## 【開催状況】

### 第1回

- 日時：平成17年7月14日(木) 14:00～16:00  
議事項目：1. 文化観光の意義について  
2. 文化観光に関するプロジェクトについて  
3. 今後の進め方について

### 第2回

- 日時：平成17年12月8日(木) 14:00～16:00  
議事項目：1. 当面の文化観光に関するプロジェクトについて  
2. 「わたしの旅100選」選定結果について  
3. 文化観光懇談会の今後の進め方について

### 第3回

- 日時：平成18年6月14日(水) 10:00～12:00  
議事項目：1. 平成17年度に実施した文化観光に関するプロジェクト等の結果について  
(1) 日本の庭園から日本人の美意識・自然観を学ぶモデルツアー  
(2) 文化観光の集い ～違いを認める文化～  
(3) その他  
2. ケーススタディ：文化観光ガイドの実践例  
NPO法人 遊悠舎京すずめ 土居理事長

### 第4回

- 日時：平成19年4月19日(木) 10:00～12:00  
議事項目：1. 平成18年度に実施した文化観光に関するプロジェクト等の結果について  
(1) 「ようこそ山形へ、もうひとつの日本」モニターツアーの報告  
(2) 文化観光シンポジウムin山形  
「ようこそ山形へ、もうひとつの日本」  
(3) ご当地検定の現状について  
2. 外国人から見た「文化と観光をつなぐ」日本の観光  
3. 東京下町ツアーの提案

### 文化観光懇談会の成果等に関する意見交換会

- 日時：平成20年3月5日(水) 15:00～17:00  
議事項目：1. 文化観光懇談会の成果について  
2. 訪日外国人旅行者の受け皿対策の取組について  
3. 文化庁の取組について  
4. リピーターを意識した「日本の文化に深く触れられる」旅行商品造成の取組について



# 「文化観光懇談会」における具体的な取組み

## 文化観光シンポジウム「文化観光の集い ～違いを認める文化～」 (平成18年2月18日)

県及び市町村観光担当課、観光協会の職員、観光ガイド、また歴史学・民俗学研究者や寺社関係者など、広く歴史や文化に携わる方々を対象として、文化観光に対する理解の増進を図るため、日本文化の根底に流れる「違いを認める文化」について分かりやすく解き明かす基調講演を中心として、文化観光の推進の現代的意義や今後の文化観光のあり方等について有識者による意見交換を行う『文化観光の集い』を開催した。



## 「ようこそ山形へ、もうひとつの日本」モニターツアー・シンポジウム (平成18年10月25日～26日)

京都や奈良などの文化の対極にあるとも言える“もうひとつの日本・山形”に、日本人の魂を訪ね、外国人留学生、山形県内観光ガイドボランティアを対象としたモニターツアーを実施した。

文化観光懇談会の赤坂座長、千歳委員から、日本人の精神文化を題材にして、日本文化の奥深さや素晴らしさについて解説等を行い、魅力的に伝える方法について、意見交換を行った。

また、山形県、市町村観光担当課、観光ガイド、歴史学・民俗学研究者や寺社関係者等、広く歴史や文化に携わる方々を対象に、観光の深化、文化観光の振興を目的に、シンポジウムを開催した。



## 日本の庭園から日本人の美意識・自然観を学ぶモデルツアー (平成18年3月6日～7日)

異文化で育った人々に、より深く日本文化を伝える糸口や方法を探るため、外国人を対象としたモデルツアーを実施した。

河合隼雄前文化庁長官、VAN TONDER GERT JAKOBUS 京都工芸繊維大学助教授、矢ヶ崎善太郎京都工芸繊維大学助教授から英語による解説等を行うとともに、その質疑の状況を記録にとどめ、今後、視察した箇所を含め広く日本の文化を外国人に伝える基礎資料とした。



## 「日本画百話・東京下町ツアー 文化観光モニターツアー～日本画から日本文化を学ぶ～」 (平成19年10月8日)

上野・谷中といった東京の下町において、日本画をテーマにして、外国人を対象にしたモニターツアーを実施した。

アメリカやフランスの大使館員、旅行会社員、アジアからの留学生などが参加し、創立120周年を迎えた東京芸術大学において、「企画展 岡倉天心」を鑑賞したり、日本画の画材を扱う金開堂において絵の具や筆などについて、その歴史や原料の説明を受け、日本画の作成を体験した。

